

項目	評価の観点		自己評価(教職員による評価と平均値)(3・2・1・0)				学校関係者評価(3・2・1・0)		今後の改善に向けて
			昨年度		今年度		中項目の評価	ご意見・提言等	
			項目別	中項目	項目別	中項目			
主体的・対話的で深い学び	1	支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践を行っている。	2.42		2.55		2.88	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の進度に合った自由進度学習は自分のペースが守られ、これからの学校教育に欠かせないことと思う。</li> <li>図工の作品がオープンスペースに掲示されていることで、子ども相互の認め合いや評価活動が行われてよい。</li> <li>4年生が行っている香妻川万博(総合的な学習の時間)の取り組みは子どもたちの主体的な深い学びだったと感じた。</li> <li>もっと子どもたちが考えを出し合ったり、グループで話し合ったりしている場を参観の際に見てみたい。</li> </ul>	
	2	協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善をしている。(ICTの活用を含む)	2.68	2.54	2.59	2.61			
	3	主体的・対話的で深い学びを追求する授業研究や研修会を行っている。	2.53		2.69				
道徳教育の充実	4	生命を尊重する心やいじめを許さない態度などの道徳的実践力を育てる活動を実施している。	2.63		2.59		2.85	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な子どもたちが関わり合い、育ち合えるために、イエローリボンの活動に期待している。</li> <li>廊下ですれ違った子どもにあいさつをするや気持ちの良い返事が返ってくる。</li> <li>悩みをもっている子どももいるだろうが、どのような指導をしているのかが気になった。地域としても子どもの笑顔を守っていききたいので、できることがあればいっしょに考えていきたい。</li> </ul>	
	5	道徳科の授業・評価に関する研究や資料の開発・整備・交流を行っている。	2.21	2.51	2.24	2.53			
	6	保護者等への道徳の授業公開を行っている。	2.68		2.76				
体力づくり	7	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善を行っている。	2.37		2.52		2.77	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習に来ている児童に関しては、放課後しっかりと体を動かして体力向上につなげていきたい。</li> <li>ゲームだけでなく、もっと外でも遊んでほしい。</li> </ul>	
	8	体力づくりを推進する運動実践をしている。	2.32	2.44	2.55	2.55			
	9	体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成を行っている。	2.63		2.59				
指導改善(組織的・計画的)	10	学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫や改善を行っている。	2.37		2.66		2.88	<ul style="list-style-type: none"> <li>工夫された楽しい授業で子供たちがイキイキしているのを感じた。</li> <li>公務の負担感に関しては、校務DXを行って作業の効率化を進める。その内容を先生方同士で共有する。</li> <li>部会や職員会議等で行事などの精選を行う。</li> <li>指導改善に関しては校内研究と合わせて行うとともに、校内研究通信の発行やOJT研修を行っていく。</li> </ul>	
	11	教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上に努めている。	2.53		2.69				
	12	子供自身で学習課題を立てたり、学習の流れを考えたりする自律的な学びを意識して授業を行っている。		2.35	2.41	2.45			
	13	子供の個性や得意な分野に合わせた教養、教材、学習時間、学習の場など個別最適な学びを意識した授業を行っている。			2.52				
	14	子供自身が自分なりの学び、学びがちな点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげられるような振り返りを行っている。			2.34				
	15	校務の効率化など多忙化解消の取組と教育活動の質の改善を行っている。	2.16		2.07				
育ちと学びを支える連携	① 家庭・地域との連携	16	保護者の子育てに対する積極的な支援を行っている。	2.37		2.28		2.79	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の授業参観では「子どもたちが何を考えて、何を感しているのか」をもう少し知ることが出来れば良いと感じます。</li> <li>ホームページでの情報発信をこまめにしておりよい。</li> <li>毎月発行している学年通信を学校運営協議会の委員が目にする機会があってもよい。</li> <li>地域人材の活用を広げることにに関しては、余地があるように感じる。</li> <li>今回CSに参加して初めて学校の細かな取り組みが知れた。CS以外でも保護者が学校の様子を知れる機会があってもいい。</li> </ul>
		17	保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用をしている。	2.58	2.49	2.66	2.49		
		18	防災教育の推進、感染症対策の推進等、安心・安全な学校づくりを行っている。	2.53		2.55			
② 保幼小中の連携	19	子どもの校種間交流や教員の出前授業を行っている。	2.63		2.55		2.62	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も幼稚園と小学校双方の研究保育・授業に参加し、来年度に関してはその頻度も増やしていきたい。</li> <li>架け橋期の合同研修会で教員同士の関係が向上したように思う。</li> </ul>	
	20	校種間の授業公開や合同研修会を行っている。	2.11	2.25	2.72	2.56			
	21	保幼小中の接続期の教育課程の編成等校種間のカリキュラム研究を行っている。	2.00		2.41				
組織的体制の充実	① 生徒指導体制の充実	22	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導に努めている。	2.63		2.69		2.85	<ul style="list-style-type: none"> <li>心の健康観察は子どもの心に寄り添う大切なことで、たくさんの子どもの心を通わせたいと考えている。</li> <li>学年会やいじめ対策会議を定期的に行うとともに、即時の情報共有となった。</li> <li>いじめ等対応について教職員の意識を高く持ち続ける共に、未然防止することにも注力する。</li> </ul>
		23	生徒指導・教育相談体制の確立と組織的な推進している。	2.74	2.68	2.59	2.60		
		24	家庭・地域・関係機関との連携による指導を行っている。	2.68		2.52			
	② 特別支援教育の充実	25	個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用をしている。	2.79		2.83		2.69	<ul style="list-style-type: none"> <li>色々な個性・特性(あるいは障がいをもつ子ども)に応じた教育・指導が特に難しいと考えるが、校外の機関とも連携していきながら全員が楽しく卒業できるようにしていきたい。</li> </ul>
		26	組織的・計画的な特別支援教育体制の確立をしている。	2.79	2.77	2.62	2.72		
		27	関係機関と連携した相談体制の充実にも努めている。	2.74		2.72			
学校満足度	28	児童生徒の学校満足度	2.47		2.31			<ul style="list-style-type: none"> <li>地域と学校がともに子どもの成長に関わることで、子供タッチの学校満足度をもっと高めることができる。</li> </ul>	
読書活動	29	朝読書等の読書活動の積極的な取組	2.47		2.48		3.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動のブックママ・パパは幼稚園にも来てくださっているので、幼稚園でも読書活動の充実につなげていきたい。</li> <li>図書司書ボランティアの方との連携。</li> <li>委員会活動の充実。</li> </ul>	
体験活動	30	環境教育等体験活動の積極的な取組	2.63		2.83		2.77	<ul style="list-style-type: none"> <li>夢づくり委員会の子どもとじかに関わったのがよかった。</li> <li>授業以外でももっと土に触れる機会を創出することで、子どもの育ちが変わってくると思う。</li> <li>エコスクールとしての取り組みがよかった。</li> </ul>	
※	児童生徒アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.36		2.37					
※	保護者アンケートのすべての評価の平均値(3点満点、小数第2位まで記入)	2.17		2.18					